

き ら き

2025年 12月25日(木)

今日で2学期が終わり、明日から冬休みが始まります。日々の学習での成長はもちろん、動物園見学やいなづみ発表会などの経験を通して、また一段と成長を感じられた2学期となりました。3学期も元気と笑顔にあふれた2年生に会えることを楽しみにしています。保護者の皆様には、たくさんのご協力をいただきありがとうございます。

<冬休みについて>

- ・夏休み同様、始業式に提出するプリント等はありません。長い休みになりますので、ご家庭で、学習や生活（お手伝いや体力づくりなど）に取り組むようにお願いします。

***下記を参考にご覧ください。**

【学習】

- ・国語：くりかえし漢字ドリルは繰り返し練習ができますので、ぜひ冬休み中にも、取り組ませてください。1、2学期に習った漢字は、正しく書けるようにしておくといいです。
- ・算数：かけ算の練習をしておくといいです。1～9の段まで、休み期間中に忘れないよう練習することで、定着につながります。

【学習用具について】

- ・お道具箱：はさみ、のり、クーピー、クレヨン、セロテープ、ボンドなど、中身の確認や補充をよろしくお願いします。
※3学期は軍手は使いませんので中身にいれずにお願いします。
- ・体育帽子：洗濯し、ゴムが伸びている場合や切れている場合は付け替えをお願いします。
(フックに掛ける小さなゴムも点検を)
- ・鍵盤ハーモニカ：ホースは水で洗い、乾かして下さい。
ガーゼやハンカチの洗濯もお願いします。
- ・絵の具セット：3学期に使うので確認、補充をお願いします。
- ・教科書類：置く勉ボックスの教科書も持ち帰っています。3学期までご家庭で保管をお願いします。
- ・ノート類：残りページ数の確認、必要であれば補充をお願いします。

【探検バッグ・粘土・粘土版・縄跳びは学校で保管しています。】

【安全について】…「冬休みのくらし」を配付しています。

- ・雪で歩道がわかりにくくなっています。事故防止のためにも、道路沿いの雪山などに登らないよう気を付けてください。

***始業式<1月15日(木)>の持ち物について**

- | | | | | |
|-----------|---------------|----------------|---------|---------------|
| □上靴 | □給食袋（マスク） | □体育帽子 | □ぞうきん2枚 | □ぞうきん用せんたくばさみ |
| □借りた本（二冊） | □こくご（教科書、ノート） | □さんすう（教科書、ノート） | □ふでいれ | |
| □お手紙ファイル | □ハンカチ・ティッシュ | | | |



	1月15日(木)
行事	3学きしきょうしき (きゅうしょくあり)
持ち物	下記をご覧下さい
	朝読書
1	ぎょうじ しきょうしき
2	こくご 本のへんきゃく 詩の楽しみ方を見つけよう
3	こくご 詩の楽しみ方を見つけよう
4	さんすう はこの形
下校時刻	13:05ごろ



学級の様子
も是非ご覧ください☆

稲積小学校 HP

スキー学習について

＜実施予定日＞ グラウンドでの第1回目のスキー学習は1月28日（水）の予定です。26日（月）までにスキー用具を学校に持ってきてください。なお、始業式前日14日（水）の14：00～16：00もスキーの搬入が可能です。

＜持ち物＞ スキー板・ストック（ケースに入れて）スキー靴（ケースにいれて）
スキーウェア上下、スキー用の手袋（毛糸ではないもの）、
耳が隠れる帽子、必要があればネックウォーマー、
必要があればゴーグル

- ◎ 安全上の面から、服装が整わない場合はスキー学習に参加できません。校内で自習となります。
- ◎ 全ての道具に記名を忘れずにお願いします。

＜保管場所＞ 期間中はずっと学校で保管します。

- ・スキーとストック（ケースに入れて） = 体育館横のスキー置き場
- ・スキー靴（ケースに入れて） = 2年生の空き教室
- ◎ 土・日・祝日は、学校へのスキー用具の出し入れはできませんので、
スキー用具の出し入れは、平日（16：40まで）にお願いします。
- ◎ 保護者の方がスキーケースとスキー靴ケースを持ってきた場合は、図書室前のブルーシートの上に置いてください。登校後、子どもが保管場所までケースを運びます。
- ◎ 金具の調整等については学校では対応できません。

☆記名について☆

スキー、ストック、スキー靴、またそれをしまうケースは例年、まったく同じものを友達が使っていることがあります。全てのものに記名をお願いします。

スキーやスキー靴に直接記名するのに抵抗がある場合には、ビニールテープ等を貼ってその上に油性ペンで記名することをおすすめしています。

☆冬休み中にお願いしたいこと☆

- ・スキーウェア、手袋など身支度を一人でできるようにする。
- ・スキー靴とスキーが合うか着用して確かめる。
- ・ウェアを着た状態でスキー靴を履き、金具を止める練習をする。
- ・外でスキーを履いて平地を歩く。公園やスキー場の山などのゆるやかな斜面を登ったり、滑ったりする。
- ・スキーやスキー靴をケースから出したり、しまったりする。

来年度からは、スキー場でのスキー学習が始まります。可能なご家庭につきましては、スキー場へ行く機会を設けていただけますと幸いです。